

宮古

ワイドーぱり

「活力ある農業」の意味 (ワイドー=がんばれ、ぱり=畑)

発行所

宮古農林水産振興センター農業改良普及課

〒906-0012 宮古島市平良字西里1125

TEL : 0980-72-3149

FAX : 0980-72-9751



第32回沖縄県野菜品評会で12人が入賞

沖縄県立武道館で開催された沖縄県野菜品評会において、303点(宮古地区:5品目32点)が出品され、宮古地区の3品目4点で金賞を受賞しました。

特別賞として、さやいんげんで上地美香さんが農林水産省農産局長賞、とうがんで友利博明さんが沖縄県議会議長賞、ゴーヤーで伊志嶺一之さんが内閣府沖縄総合事務局長賞、来間正博さんが沖縄県農林水産部長賞を受賞されました。

ゴーヤー・とうがんは、宮古地区で金・銀・銅賞を独占、さやいんげんは全体で20点以上の出品があるなか金賞を受賞、かぼちゃ・メロンは惜しくも金賞は逃したものの、両品目で入賞があり、各部門を大きく盛り上げる成績を収めました。

また、野菜産地活動 創意工夫部門では、ハウスビニルを簡単に張ることができる「らくらく二人でハウスのビニル張り器具」を開発した友利博明さんが表彰されました。



さやいんげん



とうがん



ゴーヤー



令和6年度 沖縄県農林漁業賞 表彰式



「沖縄県農林漁業賞」表彰式
中縄、ふるさと百選」認定証交付式

1月17日(土)、奥武山総合公園で開催された「おきなわ花と食のフェスティバル2025」の特設ステージで行われ、各部門から7個人、4団体が受賞しました。

宮古地区からは、多良間地区さとうきび生産組合(農産部門)(写真中央)、合同会社伊良部枝豆生産組合(農山漁村地域活性化部門)(右から4番目)の2団体が表彰されました。

沖縄県農林漁業賞は、技術の近代化及び協業化の推進等で成果をあげ、農林漁家の模範となる実績をおさめた農林漁業者及び農林漁業生産集団の中から特に優秀な方を選定して表彰するものです。

農事功績表彰 緑白綬有功章 受章



砂川寛裕・和子夫妻が、令和6年度農事功績表彰において緑白綬有功章を受章しました。お二人は就農当初から協働で農業経営（野菜）にあたり、地元のスーパー等売り先とした地産地消に特化した経営を営み、併せて、環境保全型農業にも取り組んできました。現在までの間、寛裕氏はJAファーマーズマーケットみやこあたらす市場出荷協議会会長を始めとした各種農業関係組織の役員を歴任し、農業振興に役割を果たすとともに、指導農業士、名誉指導農業士として担い手育成にも尽力し、東京農業大学や宮古農林高校と連携した取り組みを基に環境保全型農業の普及啓発にも努めてきました。和子氏は、寛裕氏と栽培管理に関わるほか病害虫管理や販売・営業の責任者として経営を支えてきました。農業の他にも、農家民泊による都市農村交流の取組み、PTA役員、消防団副団長、自治会長など地域社会を支える役割も二人で協力して担ってきました。これらの活動や功績が認められ、今回の受章となりました。

11月に東京都で執り行われた表彰式では、秋篠宮皇嗣殿下から「農業を取巻く複雑・困難な現下において、みな様の力が益々必要とされている」とのお言葉を賜り、お二人は「これまで以上に農業や担い手育成に尽力しなければならない」と気持ちを新たにされていました。



宮古地区 産業振興賞 表彰式



第47回宮古の産業まつりにおいて、宮古地区産業振興賞の表彰式が11月23日、宮古島市役所敷地内特設ステージで開催されました。

農林水産部門では、喜屋武盛吉氏（城辺：タマネギ）、砂川裕喜氏（平良：野菜）、砂川明寛氏（城辺：さとうきび、肉用牛）、が宮古地区の農業振興に対する貢献が評価され表彰されました。

また、農事組合法人伊良部枝豆生産組合（伊良部：エダマメ、かぼちゃ、オクラ）が商工観光部門で表彰されました。

表彰は、産業まつりに来場された多くの市民や家族、知人が見守る中で行われました。

地域農業振興総合指導事業

宮古島市のさとうきび生産体制の強化

さとうきびの単収向上を目指して、重点的に**地力増進と受委託体制の強化**に取り組んでいます！

| 取組課題 | ①地力増進(土づくり) | ②受委託推進 |
|------|--|---|
| 主な取組 | <ul style="list-style-type: none"> 物理性改善(心土破碎) 有機質資材の活用PR 製糖残渣(バガス)等の活用検討 | <ul style="list-style-type: none"> 各作業の目的・効果のPR 作業管理アプリの活用支援 重点地区(狩俣地区)の取組支援 |

土づくり講習会(心土破碎、団粒構造を知っていますか?)

- 有機質資材の活用効果や目的を伝えるために、各地区で講習会を行っています。
- 令和6年度は、伊良部地区、平良狩俣、平良島尻、城辺加治道などで開催しました。

牛ふん堆肥で土づくり

積込・運搬
 ・ホイルローダー
 ・トラック
 堆肥3t ¥25,500/10a
 積込運搬 ¥2,400/10a

散布
 ・マニユアスプレッタ
(トラクタ牽引式、トラック搭載式)
 ・ホイルローダー
 ・バックホー
 散布 ¥3,000/10a

**すき込み
(耕起・碎土)**
 ・プラウ、プラソイラ
 ・ロータリー
 心土破碎 ¥5,000/10a
 碎土 ¥5,000/10a

【注1】10aあたり3t投入するとして計算しています
 【注2】作業料金は、受託者によって変わります

保水力・通気性・保肥力のある土

堆肥・有機物投入

微生物が増殖 → **腐植生産**
(黒色粘着物質) → 腐植が接着剤となり、単粒の土をくっつけて固まり(団粒)をつくる → **団粒構造**

作業管理アプリ等の利用拡大

受託組織(オペレータ)や製糖工場を中心に、収穫予定ほ場をアプリ等に登録して「作業管理の見える化」に取り組んでいます。

作業の「見える化」をすることで、進捗管理や情報共有が効率的に出来るというオペレータもいます。

これまでに、アプリ等を使用して見える化に取り組んでいる原料区は以下です。

- 伊良部(前里添・長浜)
- 平良(狩俣・添道・細竹・野原越)
- 城辺(友利・福北など)

☐ 使ってみたい方はもちろん、見るだけでもその他、スマート農業などに興味のある方は普及課までご連絡ください。



講習会等を希望する地区(原料区等)は、普及課までご連絡ください。

農業改良普及課 ホームページ

さとうきびの栽培管理の目的などを随時掲載しています。ぜひご覧下さい。



オクラ春作の植付けについて



表 オクラの温度による発芽への影響

| 温度 | 発芽日数 | 発芽率 |
|--------|------|-------|
| 25~30℃ | 3~5日 | 85%以上 |
| 20 | 10 | 〃 |
| 15 | 20 | 60%程度 |

※農業技術体系 11巻 P.79より

●播種時に注意すべきこと

- ・発芽は温度に左右されるので、露地栽培では **2月末~3月以降**に播種する事をオススメします
- ・天気予報で気温の高い日が続く日を確認する。
- ・播種時に培養土をかぶせる。
(堆肥は立ち枯れ病を増やすので注意!!)

●苗立枯性病害・・・4種の糸状菌が関与している



病名 **苗立枯病**
 症状 折れるように倒れる
 病原菌 リゾクトニア属、ピシウム属

病名 **疫病**
 症状 地際が褐変する
 病原菌 フィトフトラ属

病名 **立枯病**
 症状 縦に黒いすじが入る
 病原菌 フザリウム属

- ☆対策 ①連作しない ②播種前にユニフォーム粒剤の散布 ③発芽後はかん水を控える
 ④排水対策を徹底する ⑤防風ネット等による風対策

オクラは **ネコブセンチュウ** が非常に発生しやすい

●ネコブセンチュウ対策について

- ☆対策 ①連作しない
 ②センチュウを減らす土づくりとして **緑肥**の栽培 (クロタラリア、ギニアグラス、ソルゴー) 等



●台風対策について

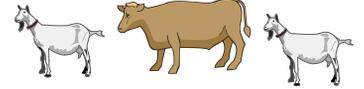
台風対策は、通過後の回復を早くするためにも **事前の対策**が重要です。

- ①木が堅く、がっちりしている場合→切り戻し
- ②生育初期で木が柔らかい場合→ネット等のべたがけ

切り戻しを行う際は、側枝の発生を促すために追肥を行いましょう。



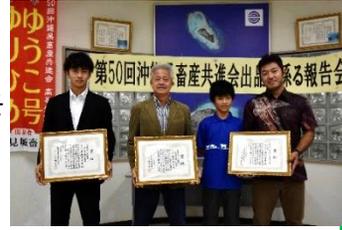
多良間村だより



～県畜産共進会において好成績を収める～

令和6年11月3日に南部家畜市場にて開催された第50回沖縄県畜産共進会 肉用牛部門において、多良間村から若雌第1類(1頭)、第2類(1頭)、高等登録群(2頭)に計4頭出品しました。多良間村から県共進会の高等登録群への出品は本共進会が初でしたが、素晴らしい結果を収め、高等登録で豊見城畜産さん出品のゆうこ号(母)、ゆりひめ号(娘)が優秀2席、若雌第2類で湧川農さん出品のさくらりぼん号が優秀3席を受賞しました。

後日、村役場での報告会では、農家・関係機関で好成績を振り返り、今後の躍進に向けて盛り上がりました。



～肉用牛経営緊急サポート体制～

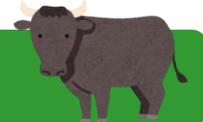
配合飼料価格の高止まりや、子牛取引価格低迷の長期化による困難な経営状況が続いていることから、沖縄県では家畜保健衛生所内に相談窓口を開設しています。

肉用牛経営緊急サポートの取組として、宮古家畜保健衛生所、沖縄県畜産振興公社、多良間村役場、宮古普及課(多良間駐在)で連携し、現地検討会を開催しました。講師として知念氏(JAおきなわ畜産部)を招き、村内2農場でバーンミーティングスタイルでの飼養管理勉強会を行いました。



R7.1.22 現地検討会の様子

肉用牛研究クラブの紹介



宮古地区の肉用牛繁殖農家の生産技術向上や仲間づくりを目的に活動する組織です。現在、若手農家を中心に、宮古島市と多良間村合わせて26名が加入しています。

講習会

- ・堆肥化の原理
- ・分娩・発情監視システム
- ・飼槽の深さと飼料損失など



牧草新品種候補の視察



現地検討会

- ・寒地型牧草エンバク、イタリアンライグラス草地の視察
- ・栽培管理について意見交換



若手畜産農家や指導農業士の牛舎視察・情報交換



肉用牛研究クラブでは、勉強会や牛舎・牧草地での現地検討会などを行っています。LINEグループでは、講習会や畜産情報をお知らせします。加入希望の方はお気軽に普及課までお問合せください。

沖縄県農業機械士協議会宮古支部の活動紹介

農業機械士協議会とは、農業機械士養成研修に合格し県知事から認定を受けた“農業機械士”の組織で、令和7年1月時点で62名の会員が在籍しています。農作業安全啓発を進め、農業機械の知識・技術向上、情報交換を促進しながら幅広く活動しています。

情報交換・勉強会



役員会・定例情報交換会



勉強会

視察・技術研修



南部地域視察研修



農業機械メンテナンス講習会

農作業安全啓発



機械安全操作研修の講師



農作業安全パトロール

令和7年度の農業機械士養成研修は宮古島で開催します!!
 研修や機械士協議会の活動に興味がある方は普及課までご連絡ください♪

みゃーくの味加工推進協議会 活動紹介

- みゃーくの味加工推進協議会は、女性加工起業者15起業15名（内 多良間会員3名）が加入し様々な組織活動に取り組んでいます。
- 活動目的は、農海産物の付加価値向上、食文化や技術の継承、起業者間のネットワーク形成等です。



イベント参加(宮古の産業まつり)

宮古の農水産物を加工した佃煮、お菓子、惣菜等の商品を販売。イベントを盛り上げました!



学校給食栄養士への講習会
 食文化継承のために、地域産物のレシピを伝えています。
 今回は、豆料理でした!



定例会

2~3か月に一度
 集まっています!

活動の様子は
 こちらから →



◎MYAHK.NO.AJI

沖縄県では県産農林水産物を主原料とした商品開発に取り組む農林漁業者等を支援する事業を実施しています。詳しくは、農業改良普及課 農産物活用担当までお問い合わせください。